

群馬県流域下水道事業における水の官民連携(ウォーターPPP)に関する 民間企業向けアンケート結果について

実施した標記アンケートについて、結果を公表します。

なお、公表にあたって回答社名は匿名とし、選択回答のみ公表対象としています。

アンケート期間 令和8年6月10日～6月30日

アンケート回答者数 10者

回答者業種

- A 社 管路施設メンテナンス、管更生工事
- B 社 プラントメーカー、処理場メンテナンス、機械設備工事、電気設備工事ほか
- C 社 処理場メンテナンス、浄化槽メンテナンス、土木・建築工事、機械設備工事、電気設備工事
- D 社 管路施設メンテナンス、管更生工事
- E 社 総合建設業者、土木・建築工事
- F 社 処理場メンテナンスほか
- G 社 処理場メンテナンス
- H 社 プラントメーカー、処理場メンテナンス、機械設備工事
- I 社 重電メーカー
- J 社 コンサルタント

- 本県で導入を検討しているウォーターPPP 事業に対してどのようなお考えをお持ちですか。

1. 関心がある	A 社、B 社、D 社、F 社、G 社、H 社、I 社、J 社
2. どちらかと言えば関心がある	C 社、E 社
3. どちらとも言えない	
4. どちらかと言えば関心がない	
5. 関心がない	
6. ウォーターPPP についてよくわからない	

- 本県でウォーターPPP 事業を導入した場合の懸念事項は何ですか（複数選択可）。

1. スケールメリットが十分に発揮されない	B 社、F 社、I 社、J 社
2. 他業種との JV または SPC 調整に時間と労力がかかる	A 社、B 社、C 社、D 社、F 社、H 社、I 社、J 社
3. 地元企業の参画機会が減少する	A 社、C 社、F 社、I 社
4. JV または SPC 内で業務金額の按分が不公平になる	J 社
5. リスク分担が不公平になる	B 社、E 社、F 社、H 社、I 社、J 社
6. リソース（人的・物的資源）の確保が難しい	B 社、G 社、H 社、J 社
7. 物価変動への対応が難しい	B 社、C 社、D 社、E 社、F 社、G 社、H 社、I 社、J 社
8. 地震や豪雨等の天災発生時の迅速な対応が難しい	B 社、F 社、G 社
9. 参画できなかった場合の自社の損失が大きい	A 社、F 社、G 社
10. その他	E 社

- 本県でウォーターPPP 事業を導入した場合、貴社の参画体制についてどのようにお考えですか。

1. 単独で参画	F 社
2. 共同企業体 (JV) または特別目的会社 (SPC) の代表企業として参画	F 社、G 社、H 社
3. 共同企業体 (JV) または特別目的会社 (SPC) の構成企業として参画	A 社、B 社、D 社、E 社、G 社、H 社、J 社
4. 協力企業として参画	B 社
5. 参画しない	
6. どちらとも言えない	C 社、G 社、I 社

- 本県でウォーターPPP 事業を導入する場合、県内に本社(本店)を有する事業者を共同企業体(JV)または特別目的会社(SPC)の代表企業とすることを公募要件とすることについて、どのようにお考えですか。（決定事項ではありません。）

1. 賛成（参画可能）	A 社、C 社、D 社
2. 反対（参画が難しい）	E 社、F 社、H 社、I 社、J 社
3. どちらとも言えない	B 社、G 社

- 本県でウォーターPPP 事業を導入した場合、「更新支援型」とすることについて、どのようにお考えですか。

1. 管路施設は「更新支援型」が望ましい	A 社、D 社、G 社
2. 管路施設は「更新実施型」が望ましい	E 社
3. どちらとも言えない	B 社、C 社、F 社、H 社、I 社

- 本県でウォーターPPP 事業を導入した場合、「性能指標」（業務において目標とする数値等）を設定することについて、どのようにお考えですか。

1. 対応できる	G 社
2. 対応は難しい	
3. 目標数値によっては対応できる	F 社、G 社、H 社、I 社
4. 数値目標は設定すべきでない	A 社、D 社、E 社
5. どちらとも言えない	B 社、C 社

- 本県が想定しているウォーターPPP事業の業務範囲のうち、貴社が対応できる、もしくは対応したい工種はどれですか（複数選択可）

処理場施設・中継ポンプ場施設の維持管理及び改築・更新に関する業務		
維持管理業務	運転管理業務	F社、G社、H社
	水質分析業務	F社、G社、H社
	ユーティリティ調達・管理業務	F社、G社、H社
	廃棄物処分業務	G社
	緊急対応業務（溢水等への対応）	F社、G社、H社
	清掃業務（施設内外の清掃等）	F社、G社、H社
	修繕業務	B社、C社、F社、G社、H社
	機械設備の保守点検業務	B社、C社、F社、G社、H社
	電気設備の保守点検業務	B社、C社、F社、G社、H社、I社
	維持管理情報のデータベース管理業務	E社、F社、G社、H社、J社
	災害対応業務（地震や豪雨等への対応）	E社、F社、G社、H社
改築・更新業務	更新計画策定業務	B社、G社、H社、J社
	コンストラクションマネジメント業務	B社、E社
管路施設の維持管理及び改築・更新に関する業務		
維持管理業務	住民対応業務（苦情等に対する現地確認）	
	緊急対応業務	A社、D社
	修繕業務	A社、D社、E社
	巡視（地表面を目視でパトロール）	A社、D社
	管路内の点検、調査	A社、D社
	マンホールの点検、調査	A社、D社
	管路の計画的な清掃	A社、D社
	事業計画策定業務	E社
	維持管理情報のデータベース管理業務	E社、J社
	災害対応業務（地震や豪雨等への対応）	A社、D社、E社
改築・更新業務	更新計画策定業務	J社
	コンストラクションマネジメント業務	E社

- 仮に、本県で処理場・中継ポンプ場施設及び管路施設を1つの業務として一体的に実施することを想定した場合、このことについてどのようにお考えですか。

1. 対応可能なため、実施すべきである	E社
2. 対応不可能だが、将来的には実施すべきである	J社
3. 将来的にも実施すべきではない	C社、F社、I社
4. どちらとも言えない	A社、B社、D社、G社、H社